

2024健康白書

(2023年4月～2024年9月)

Aisan

安全健康推進部 健康推進グループ

2024年10月

愛三工業の健康経営

当社は「**持続的な成長を実現していく上で、社員や家族の心身の健康は重要な経営資源、企業活力の源泉である**」との考えに基づき、2018年6月に「健康宣言」を制定しました。

会社・労働組合・健康保健組合が一体となって健康経営推進体制を整備し、積極的な健康推進活動を実践することで、健康経営優良法人(ホワイト500)に6年連続で認定されています。

今後も更なる改善を継続的に取組んでまいります。

愛三工業では、自らの健康に高い意識を持ち、
「健康チャレンジ活動」を積極的に推進していきます。

従業員がイキイキと輝き、やりがいを感じながら活躍し、
地域・社会へ貢献できる企業を目指します。

2024年9月末日

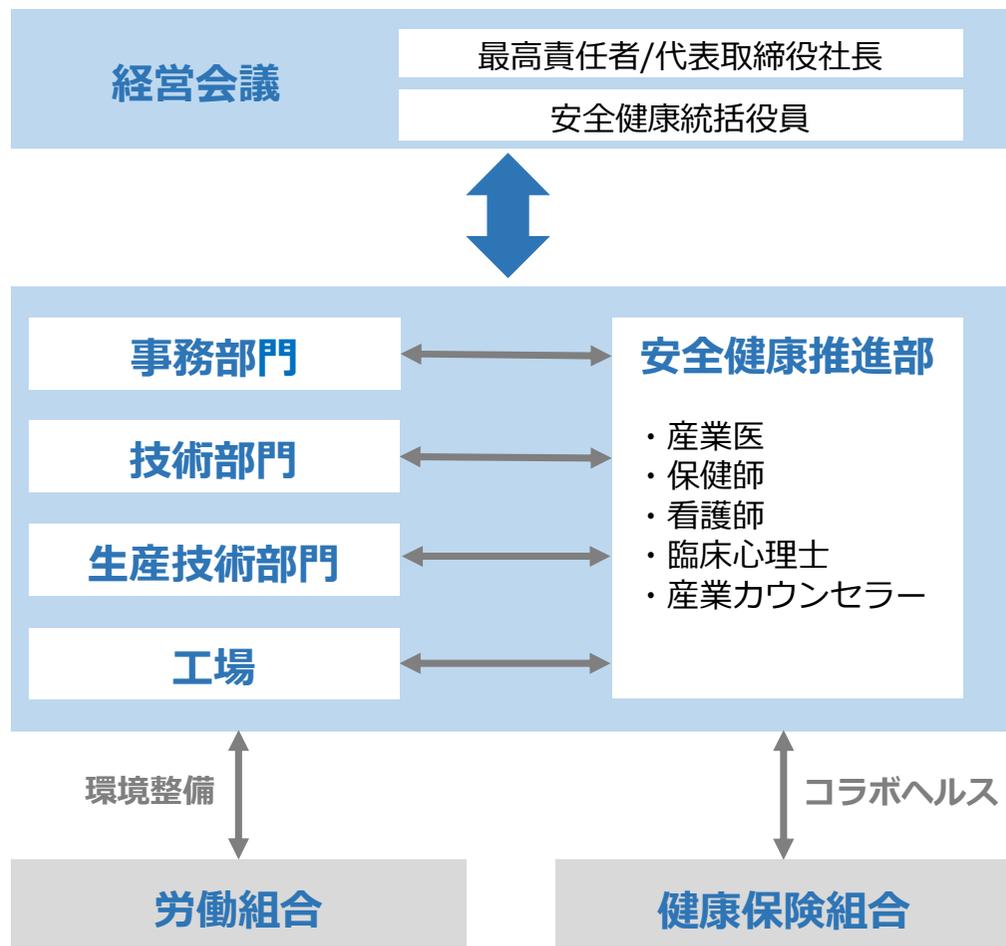
安全健康統括役員

山本 尚之



健康経営の取組み体制

健康経営推進体制



代表取締役社長を最高責任者としながら、担当役員および産業保健スタッフの在籍する事務局を中心に会社・労働組合・健康保険組合が一体となり健康を維持・増進する取り組みを推進しています。

また会社方針において「健康」を基盤方針の一つに捉え、経営会議で定期的に経営層へ活動を共有・議論し従業員の主体的な健康増進への取り組みを喚起しています。

事務局の産業保健スタッフを中心に、産業カウンセラー、人間ドックアドバイザー、健康経営アドバイザーも取得。自職場だけでなく、地域社会にも貢献できる体制づくりを強化しています。

健康経営戦略マップ

健康経営により産み出したい社会的価値

健康寿命を伸ばし、元気ある社会・地域創りに長く貢献できる人材の創出

健康経営による企業価値向上

従業員がイキイキ輝き働きがいを持ち活躍することによる生産性向上、企業魅力度向上

健康経営で解決したい経営課題

企業の持続的な成長

従業員がイキイキと輝き働きがいを感じ続けながら活躍できる企業

健康投資効果

アウトカム

ヘルスリテラシー向上

アブセンティーズムの低減

プレゼンティーズムの低減

ワークエンゲージメントの向上

行動変容に関する指標

有所見者率の低減

メンタル不全発症者の低減

がん検診受診率向上

特定保健指導対象者率の低減

喫煙者比率の低下

運動習慣者率向上

KPI

eラーニング実施者の増加

健チャレイベント参加率向上

健康セミナー実施回数の増加

セルフケア実践者の増加

人間ドック申込者数増加

プレ特定対象者の参加率向上

喫煙岩盤層の参加者増加

ウォーキングイベント実施回数増加

健康投資

施策

健康eラーニング実施

健チャレイベント実施

健康セミナー実施

メンタルヘルス研修実施
高ストレス者対策実施

人間ドック費用無料化
休暇導入

プレ特定保健指導実施
(若年者向け)

禁煙支援アプリ導入

ウォーキングイベント実施

様々な効果に関連する施策

健康アプリPepUpの導入

健康経営理解度調査実施

健康チャレンジ期間の設定

健康管理HP作成

健康管理システム導入

TOPIC.1 社長より「愛三卒煙宣言」～ 受動喫煙防止から卒煙サポートへ ～

2024年4月

当社は、健康経営を本格的に開始した2018年度より、喫煙率低減に向けて様々な取組みを実施してきました。2008年に47.9%あった喫煙率は、2023年度には24.0%まで低減することができています。また、2020年10月より国内工場敷地内において屋内外を問わずに「敷地内全面禁煙」を実施しています。今後は、従業員の「受動喫煙防止」から「卒煙」を支援するために、社長より「愛三卒煙宣言」を発信しました。

愛三卒煙宣言



愛三工業は、敷地内全面禁煙から5年目となる2025年度までに「喫煙率20%以下」を目指します。

従業員の皆さんが会社を卒業してからも健康に過ごせる未来のため、健康寿命の延伸を目指し、会社は「受動喫煙防止」から「卒煙」をサポートすることをここに宣言します。

2024年4月16日
愛三工業株式会社
代表取締役社長
野村得之

2020.10
受動喫煙防止

↓

2024.4
卒煙支援へ

健康寿命を延ばそう!

愛三卒煙宣言!

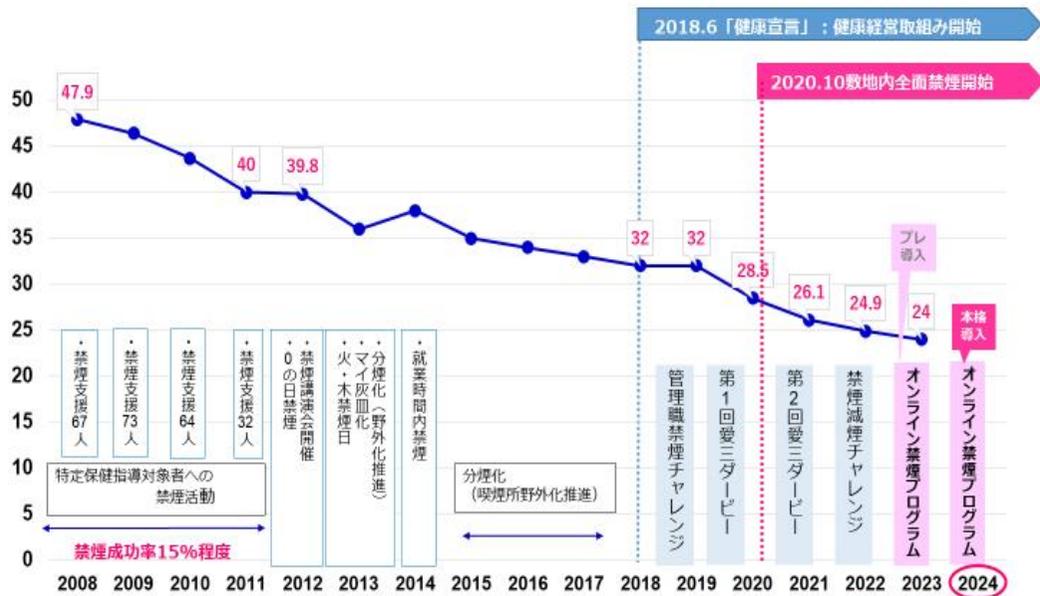
野村社長

発信元:安全健康推進部

喫煙率変遷と卒煙サポート

2023年5月～

喫煙率変遷



オンライン禁煙支援プログラムを本格導入

2023年5月から「禁煙したいが自力では困難を極める層」を対象にオンライン禁煙支援プログラムの導入を開始。タバコの「身体的依存」と「心理的依存」の両方にアプローチすることができる半年間のプログラムを第1期・2期とプレ導入しました。

2024年4月の「愛三卒煙宣言」を機会に、オンライン禁煙支援プログラムを本格的に導入。敷地内全面禁煙が開始して3年半経過した時点も喫煙中の「喫煙者盤層」に対し社長より卒煙支援の手紙を送付。

プログラムの参加時には本人の固い意思確認をもって参加可能とし、参加者自身に「卒煙宣言」を記載頂き、現在25名（平均年齢：46.8歳、平均喫煙歴：26.9年）が卒煙に挑戦しています。

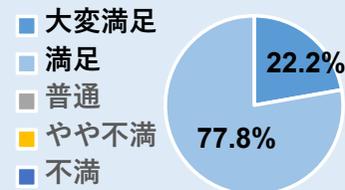
2024年度の卒煙サポート施策

1. 社長から喫煙者へ卒煙支援の手紙送付
2. オンライン禁煙支援プログラム(第3期)開始
3. 卒煙成功体験の共有 等

<第1・2期参加者結果>

卒煙成功率：77.8%

参加満足度：100%



第1期参加者	2023年 5月開始： 8名
第2期参加者	2023年10月開始： 2名
第3期参加者	2024年 5月開始： 25名
健康投資額	平均50,000円 ×参加人数

TOPIC.2 「女性の健康週間」セミナー実施

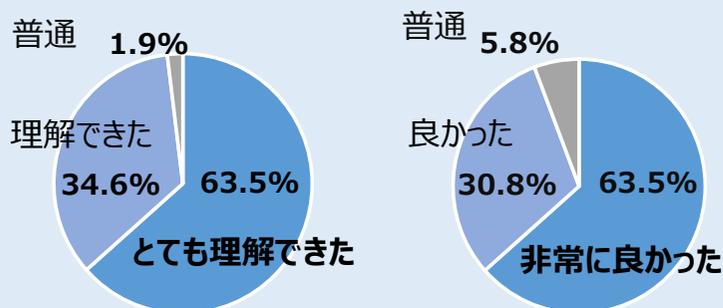
2024年3月

厚労省が制定した3月1日～3月8日「女性の健康週間」に合わせて、女性従業員の心身の健康増進および職場の不妊治療への理解促進を図る為、安全健康推進部とダイバーシティ推進室とコラボし二部制のセミナーを実施しました。希望者には無料でAMH検査（卵巣予備能検査）も実施し、不妊治療専門医に直接質問することもできる貴重な機会となりました。

	内容	対象
一部	ヨガセミナー：医療資格保有ヨガ講師	女性従業員
二部	不妊治療セミナー：不妊治療専門医師	女性・男性従業員
検査	AMH検査（卵巣予備能検査）：採血	女性従業員

不妊治療セミナー

【不妊治療の理解が深まったか】 【セミナーの満足度】

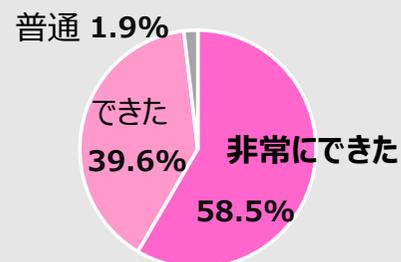


不妊治療セミナ参加者数 52人
AMH検査実施人数 27人

健康投資額 0円

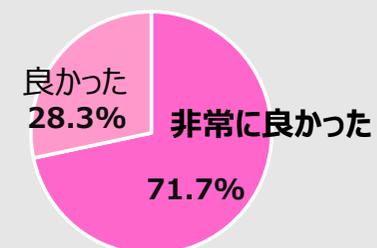
ヨガセミナー

【心身のリフレッシュはできたか】



ヨガ参加者数 53人

【セミナーの満足度】



健康投資額 約200,000円
(配布物含む)



社員食堂もコラボメニュー！



TOPIC.3 ————— ヘルスリテラシーを高めよう！～ 保健師セミナー・骨密度測定会 ～

毎月開催！保健師セミナー

2023年5月～2024年9月

社内保健師による健康セミナーは、好評につき2024年度より毎月の開催を目指しています。厚労省の年間行事予定（健康の日/イベント）や社内の要望に合わせて内容を決定。実施時間は、参加しやすさを考慮し、30～40分程度（回）、オンラインと会場への参加が可能です。社内HPには、アーカイブと投影資料を掲載し、必要な時にいつでも情報を取り出せる工夫をしています。



<実施内容>

～2023年5月～2024年9月～

- 第 3回 禁煙のススメ
- 第 4回 適正飲酒について
- 第 5回 メンタルヘルス
- 第 6回 食生活
- 第 7回 高齢者対策
- 第 8回 健診結果の見方
- 第 9回 がん検診
- 第10回 高血圧・喫煙
- 第11回 歯と口の健康
- 第12回 転倒予防+骨密度測定会**
- 第13回 臨床心理士によるセルフケア
- 第14回 脂質異常症

口からはじめる健康づくり

～イー歯でイー健康を～



参加者	50～180人/回 +アーカイブ視聴者数
健康投資額	0円（内製のため）
満足度	89.1%（12回平均）

骨密度測定会開催

2024年7月

従業員の平均年齢も上がり社内での歩行災害も散見されることから「骨年齢を知りバランスの良い食事の摂取や運動の習慣化に繋げよう！」をテーマに、転倒予防の保健師セミナーと同日に骨密度測定会を各工場で実施しました。生産部門も参加しやすいよう昼休み時間にも測定を実施。各々の結果を比較しながらコミュニケーションにも繋がる良い機会となりました。

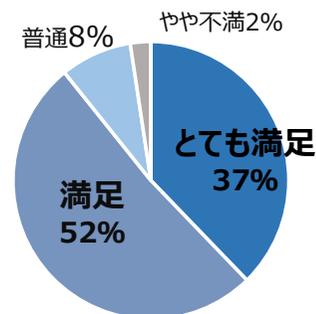


判定区分：年齢別の平均値に対して測定値が高いか低いかを5段階に判定



参加者数	256名
健康投資額	115,000円

【骨密度測定会の満足度】



TOPIC.4 ——— スポーツエールカンパニー初認定！ ～ 健康関連認定状況 ～

初認定！スポーツエールカンパニー2024 2024年5月

当社は、2018年よりスポーツ庁が募集を開始した認定プログラムである「スポーツエールカンパニー」に今年初めて申請し「スポーツエールカンパニー2024」に認定されました。

この認定を記念し、2024年7月にはPepUpアプリを活用した気軽に取り組めるチーム参加型のウォーキングラリーも開催しています。

「あなたの歩数が社会貢献に繋がります！」をキャッチフレーズに開催。1か月間楽しみながら3チーム（①スレンダーになり隊②体力をつけるのに歩き隊③楽しくチームで一体感を感じ隊）で歩数を競い合い「**首位チームの平均歩数×5円（御縁）**」を日本財団のHERO s に寄付しました。今後も従業員の健康増進の為、積極的な運動支援を実施し運動習慣者率の向上を目指します。



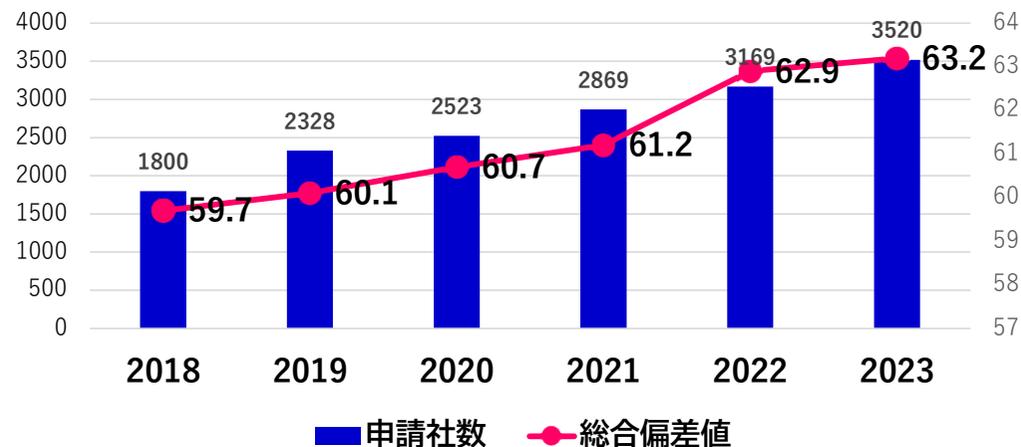
ホワイト500に6年連続認定

2024年3月

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人」の大規模法人部門において「ホワイト500」に6年連続で認定されました。参加初年度と比較すると申請社数は2倍の3520社に増加する中、総合偏差値は順調に評価頂き続けています。引き続き、従業員がイキイキと輝き働き続けられるよう、健康推進活動に邁進してまいります。



健康経営優良法人の「申請社数」と「愛三の偏差値」



健康チャレンジ期間

ヘルスアップチャレンジ/健康チャレンジ講演会

2023年10月2日～11月30日

2023年度の健康チャレンジ期間は、自分の健康状態や生活習慣を確認しイキイキと毎日を送れるように自分にあった10コースの健康チャレンジコースから選択し挑戦する「ヘルスアップチャレンジ」を実施。2か月後のなりたい姿を目指してそれぞれが健康宣言！取り組みを開始しました。期間中、**疲労医学がご専門の講師による健康チャレンジ講演会**も実施しています。

ヘルスアップチャレンジ

【目的】心身共に健康に、より良い毎日を送れる自分になる

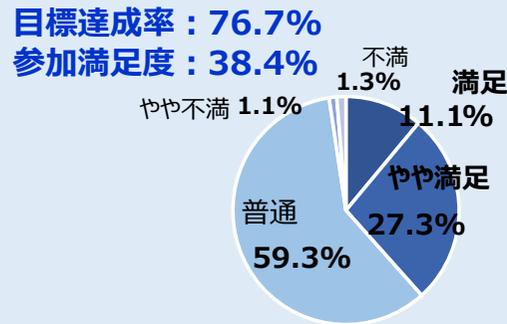
【方法】自分の状態にあったコースを選択・目標達成を目指す

【チャレンジコース】①減量②体力筋力③メンタルケア④禁煙⑤肝臓
⑥メリハリ生活⑦血圧⑧コレステロール⑨血糖⑩快眠

【背景】メンタル不全者増加傾向、要望が最も多い睡眠支援に対応
上記にあわせて、運動習慣者率改善・喫煙率の低減も目指す

従業員参加率 65.2%

健康投資額 約500,000円



健康チャレンジ講演会

3年連続で従業員から最も要望の多い「睡眠」をテーマに疲労

医学が専門である講師による健康チャレンジ講演会を実施。

コロナ流行以降初めて会場開催とオンラインのハイブリッド方式で実施することができました。

終了後のアンケートでは97%が「自分にとって非常に役立つ・役立つ」と回答。2024年度もご講演頂くことが決定しています。



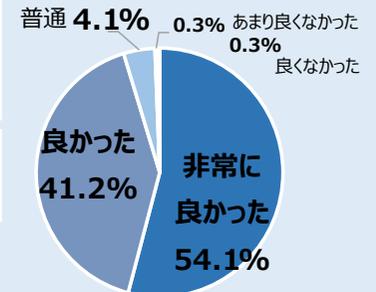
参加人数

895名
*480名 (当日)
*415名 (1ヶ月アーカイブ)

健康投資額

約500,000円
(講師費用・他)

セミナー参加満足度 : 95.3%



労働安全衛生マネジメントシステム

2024年9月

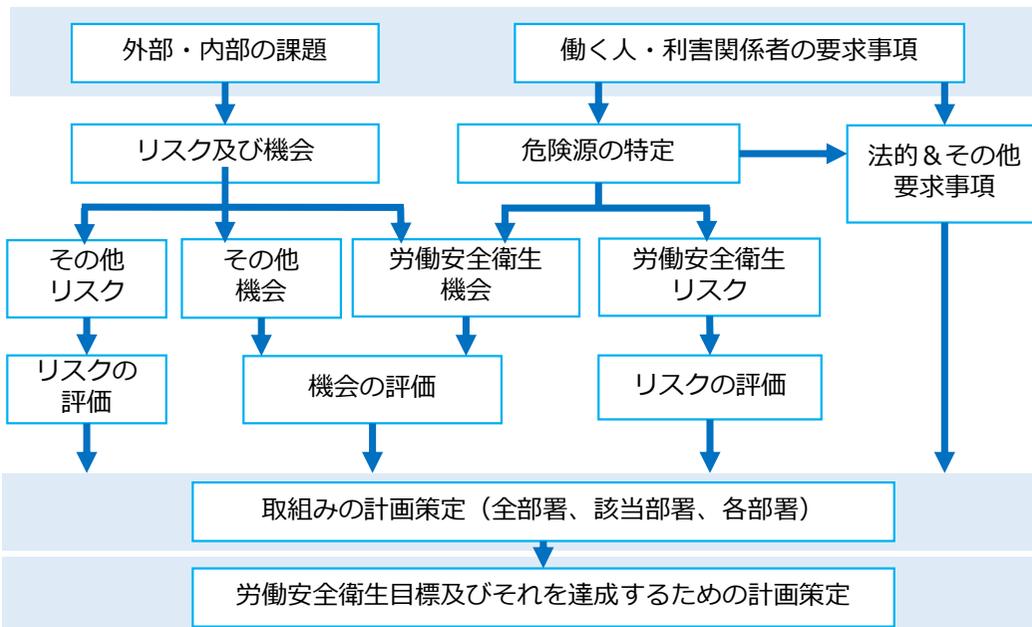
労働安全衛生に関するガバナンス強化を目的に労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001）の認証を取得しています。

労働安全衛生マネジメントシステムの適用範囲

- 【地域】 ○本社/本社工場（愛知県大府市共和町一丁目1番地の1） ○安城工場（愛知県安城市東端町北山100番地）
○豊田工場（愛知県豊田市西広瀬町小麦生635番地30） ○広瀬テクニカルセンター（愛知県豊田市西広瀬町川原田519-3）
- 【機能】 自動車部品の開発・設計・製造・販売に関わる製品・サービスの提供
- 【要員】 当社に勤務する経営層・管理職・従業員に適用する

労働安全衛生リスクおよび機会決定手続き

当社の労働安全衛生マニュアルより「組織及び状況の理解」「働く人及びその他の利害関係者のニーズ及び期待」「危険源の特定、リスク及び機会への取り組み」に関連する『事業活動に影響を及ぼすリスク及び機会』を下記フロー図に示します。



[労働災害・死亡災害に関する指標]

		'20	'21	'22	'23
災害発生 度数率	休業	0.64	0.63	0.32	0.00
	不休	0.32	0.32	0.31	0.46
	合計	0.96	0.95	0.63	0.46

*製造業の全国平均数値から見ると度数率は低い数値で推移しています。
(2020年：1.21 2021年：1.31 2022年1.25 2023年1.29)

*厚生労働省「労働災害動向調査」より

[安全文化の構築に向けて]

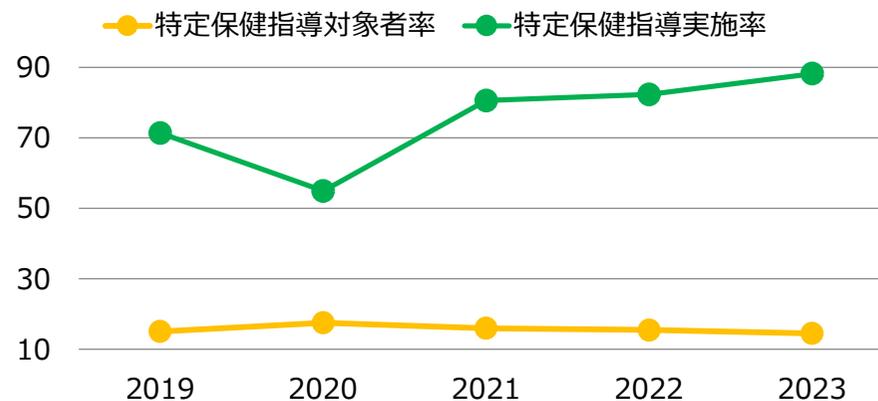
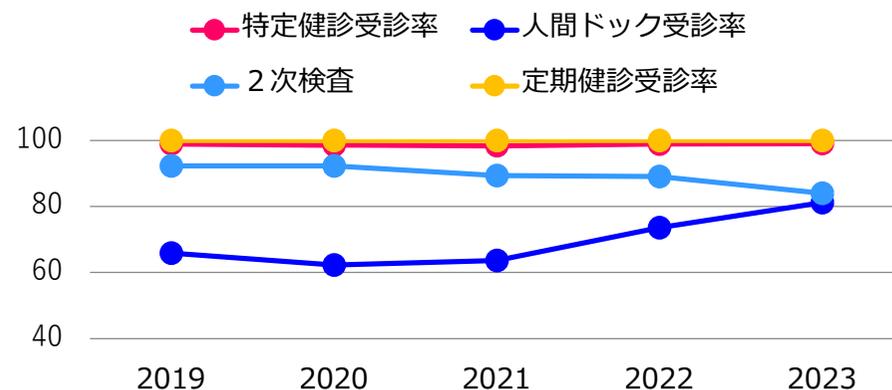
- **全社労働安全衛生マネジメントシステム推進委員会の開催**
主に安全健康基盤方針の展開や進捗状況の確認を行う場として四半期毎に開催。
- **安全衛生委員会の開催**
安全衛生活動の向上を目的に、各工場ごとに毎月1回開催。
- **安全意識の向上活動**
安全意識調査結果を基に、安全月間や年度末無災害運動で意識向上活動を実施。

健康管理数値

	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績
特定健診受診率	99.0%	98.6%	98.4%	98.9%	99.3%
定期健診受診率	100%	100%	100%	100%	100%
人間ドック受診率	65.9%	62.3%	66.9%	73.6%	76.4%
精密検査受診率 (2次検査)	92.3%	92.3%	89.4%	89.1%	84.0%

* 2021年度より、人間ドック受診対象者を40歳から35歳に拡大

	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績
特定保健指導 対象者率	15.0%	17.5%	15.9%	15.4%	14.5%
特定保健指導 実施率	71.3%	54.9%	80.6%	83.0%	88.2%

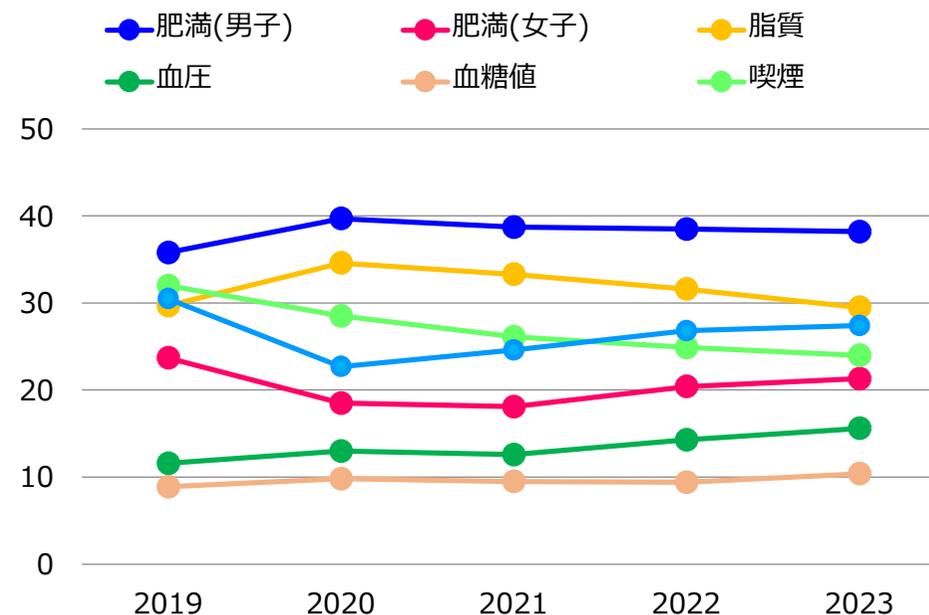


- ・ **人間ドック受診率** ⇒ 2022年度の人間ドック制度化（費用全額負担、人間ドック休暇新設、5大がん検査を基本コースに設定）により上昇。
- ・ **精密検査受診率** ⇒ 人間ドックの受診対象者の拡大、受診者数増加と共にやや下がり傾向。引き続き、受診勧奨の必要がある。
- ・ **特定保健指導実施率** ⇒ 人間ドック先での受診勧奨強化、就業時間内の社内特定保健指導、ICTによる遠隔面談を実施により実施率は上昇。

健康管理数値

		2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績
肥満者率	男性	35.8%	39.7%	38.7%	38.5%	38.2%
	女性	23.7%	18.5%	18.1%	20.4%	21.3%
脂質リスク者率		29.7%	34.6%	33.3%	31.6%	29.5%
血圧リスク者率		11.6%	13.0%	12.6%	14.3%	15.6%
血糖値リスク者率		8.9%	9.8%	9.5%	9.4%	10.4%
喫煙率		32.0%	28.5%	26.1%	24.9%	24.0%
運動習慣者率		30.5%	22.7%	24.6%	26.8%	27.4%

- ◆肥満：BMI25以上または腹囲基準：男子85cm以上・女子90cm以上
- ◆脂質リスク：HDL39mg/dl以下、LDL140mg/dl以上、TG150mg/dl以上のいずれか
- ◆血圧リスク：収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
- ◆血糖値リスク：HbA1c6.3または空腹時血糖：110 mg/dl以上



- ・ **生活習慣病対策** ⇒高血圧や脂質異常症など疾患別の健康セミナーを通し、ハイリスク者・ハイリスク予防へのアプローチを継続して実施中。
- ・ **喫煙率対策** ⇒2020年10月の敷地内全面禁煙実施以降、禁煙支援イベントや禁煙挑戦者を応援する社内風土の醸成により喫煙率は順調に低下。2023年からはオンライン禁煙支援プログラムを導入。
2024年4月には受動喫煙防止から卒煙を支援する「卒煙宣言」を社長より発信。継続して喫煙岩盤層の支援を実施。
- ・ **運動習慣者率対策** ⇒健康支援アプリを使用したウォーキングイベントの実施、運動習慣の重要性など様々な情報を展開。

健康管理数値

※健康診断問診票より

「睡眠により十分な休養がとれている人」の割合

2019実績

2020実績

2021実績

2022実績

2023実績

79.4%

76.9%

74.2%

76.6%

73.7%

2019実績

2020実績

2021実績

2022実績

2023実績

残業80時間超延べ人数(管理職)

9人

13人

14人

3人

6人

残業45時間超延べ人数(組合員)

1,198人

730人

901人

701人

816人

平均年次有給休暇取得率

85.1%

75%

88.0%

86.4%

91.2%

平均年次有給休暇取得日数

16.5日

15.7日

17.3日

17.0日

18.0日

正社員の平均勤続年数(定着率)

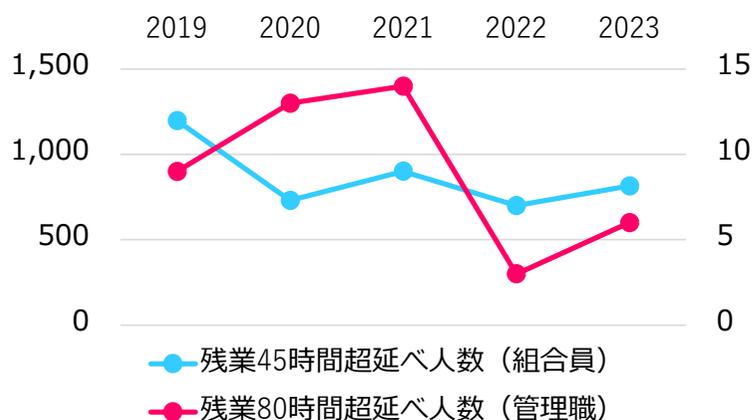
19.3年

19.4年

19.5年

19.5年

19.5年



・「睡眠により十分な休養がとれている人」の割合

⇒各残業時間の延べ人数増加に伴い、睡眠により休養がとれている人の割合が低下。残業時間を減らすことに加え、快眠や疲労回復法のセルフケア教育が必要。

・ワークライフバランス

⇒平均年次有給休暇取得日数は順調に増加している。

・従業員定着率の維持

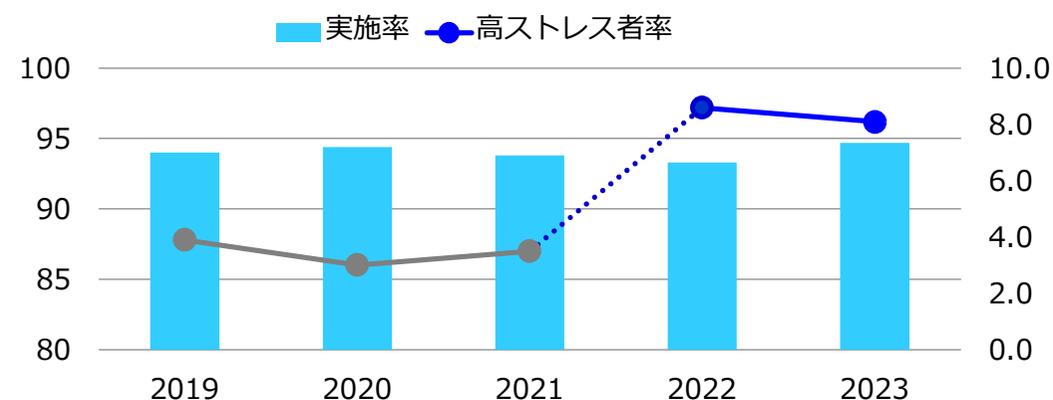
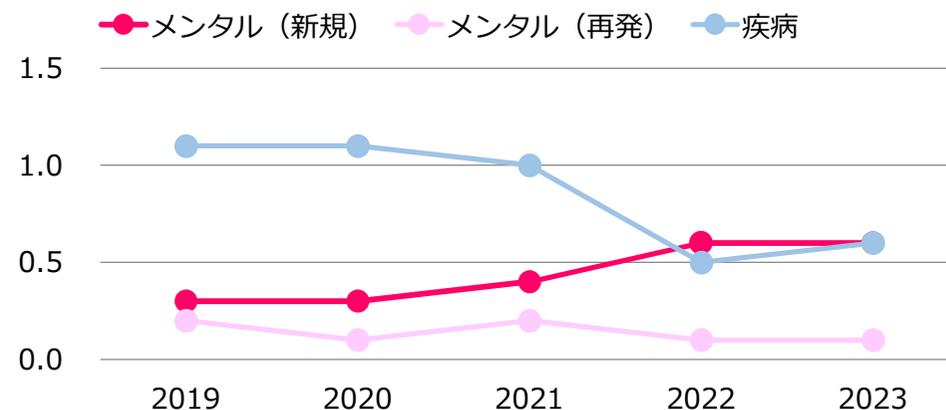
⇒正社員の平均勤続年数は19年以上を維持。令和4年度の企業の平均勤続年数は12.7年だがそれを大きく上回っている。

*参考：国税庁「民間給与実態統計調査」

健康管理数値

	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績
休職者率 メンタル(新規)	0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	0.6%
休職者率 メンタル(再発)	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
休職者率疾病	1.1%	1.1%	1.0%	0.5%	0.6%

	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績
ストレスチェック 実施率	94.0%	94.4%	93.8%	93.3%	94.7%
高ストレス者率	3.9%	3.0%	3.5%	8.6%	8.1%



* 2022年度から高ストレス者評価基準を「愛三基準」から「厚生労働省基準」に変更。同じ評価基準で比較すると高ストレス者率は下がっている。

・ストレスチェックの実施は「セルフケアの1つ」として受検を促し毎年90%台の受検率を推移

⇒2023年度からは全実施者をWeb実施に変更し、即時結果を画面で確認できるように改善し実施率も上昇。高ストレス者だが面談を希望しない従業員に対しては、4か月後に「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」も実施している。

健康経営全体のKPI

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2025年 目標値
健康診断有所見者率	47.4%	53.0%	38.1%	35.9%	35%
プレゼンティズム	—	16.8%	17.7%	17.0%	15%
回答率・回答人数	—	54.8%・1632人	65.1%・1893人	58.6%・1739人	
アブセンティズム	平均1.5日	平均1.9日	平均1.3日	平均2.0日	平均1.2日
傷病手当利用 平均日数	(4,747日)	(5,796日)	(3,907日)	(6,158日)	
傷病手当利用 延べ日数	77件・3110人	101件・3093人	107件・3073人	98件・3092人	
利用件数・健保加入者年度平均人数					
ワークエンゲージメント	—	—	肯定回答率 50.0%	肯定回答率 52.7%	55%
回答率・回答人数	—	—	96.8% (2027人)	94.4% (2068人)	

【測定方法】 *プレゼンティズム : SPQ (Single-Item Presenteeism 東大1項目版)

*アブセンティズム : 傷病手当制度の一人当たりの利用平均日数 (利用延べ日数)

*ワークエンゲージメント : クアルトリクスを使用した従業員エンゲージメント調査で「活力・熱意・没頭」の3設問より平均肯定回答率を算出

愛三のヘルスリテラシー	18.05 最大値25 > 最小値5 (右記5項目の平均値を 合算した数値を スコアとして算出)	CCHLR度(5項目)		平均値	継続した健康経営の実践活動によりヘルスリテラシーは高まっていると推察。 今後も従業員の誰もが理解しやすい健康情報の発信や判断力を身に付けられるような教育の充実が望まれる。
		情報収集		4.12	
		情報の選択		3.74	
		情報の理解・伝達		3.39	
		情報の信頼性判断		3.28	
		情報に基づく計画・行動		3.52	